

さい つの 犀の角

願行寺広報 No.62

発行日 令和6年(2024年)4月28日

発行者 真宗大谷派 龍池山 願行寺

〒994-0068 天童市高橋北130 Tel & fax 023-655-3218



春の願正壇

待ち望んだ桜の花も、夏のような暑さに、あっというまに葉桜となりました。汗ばむ陽気とひんやりとした肌寒さが一日の中で混在しています。みなさまお元気でお過ごしでしょうか。

行事のご案内

花まつり 5月12日(日) 13:30~15:30

おしゃかさまのご誕生を祝う花まつり。

4月8日と伝わっていますが願行寺では、毎年花のにぎやかな5月に開催しています。花みどうのおしゃかさまに甘茶をかけて、手を合わせてお祝いしましょう。(申込み不要)



富山のガラス作家の
ステンドグラス小物
なども販売します。
(能登石川の支援です)



おたやの輪島の塗り箸
能登石川地震の支援金をいた
だいた方にお分けしています。

ほかにもミニバザー、手作り作品やリサイクルなど、小さなお店出しをしてみませんか？
興味のある方はぜひお問い合わせください。願行寺 ☎ 023-655-3218

公開講座 5月23日(木) 14時~

願行寺が所属する山形第4組の講演会です。
東京の武田定光先生をお迎えします。聴講料 500円
会場 廣善寺(漆山2921番地 TEL023-684-8557)



武田定光師 因速寺(東京)住職。著書に『逆説の親鸞』、日々の思索を つづった『真実のデッサン』など多数。)

◆◆◆ ご報告 新年から… ◆◆◆

元旦 修正会



少し戸惑いを感じるほど気温の高いお正月でした。新年のご挨拶の法話のなかで、昭和 30 年新潟の神社で年越しのお参りに大勢の人が集まり群衆雪崩になった事故についてふれました。その夕方には北陸の地震があり、震撼とさせられました。

願行寺の本堂には、輪島のお坊様が節談説教にみえたことがあります。2014 年の宗祖 750 回ご遠忌法要でした。このたび、まずはご無事とお聞きしています。

春のお彼岸 3月20日 香風講 100年

”お講”って聞いたことありますか？その昔、お坊様のお話を聞く集いをお講と呼びました。農作業のない冬の季節にあちこちの集落でお講が開かれたようです。

各地域のお講は数年前、長岡地区を最後に閉じられましたが、高嶺南の沼澤家一族のお講は香風講として継承されています。香風講は「仏法の風が香る集い」として先々代の住職が名づけて始まり、昨年 100 年を迎えました。このたび春彼岸にそろってお参りされました。



香風講のみなさん、記念の時計ともに



50 年前 50 周年を記念した柱時計。本堂廊下にかけて替えました。

～お講の思い出～

講

ある集落では、冬の日にお講がひらかれる合図として、木の板をたたいて音をだして回ったようです。そのお知らせをするのが、子供たちの役目だったとお聞きしました。

また、雪の日集まって、手あぶりの火鉢がたくさんのお座敷で、おじいさんとおばあさんと一緒に参加して、ミカンをいただいて食べたのが楽しかった...などなど。

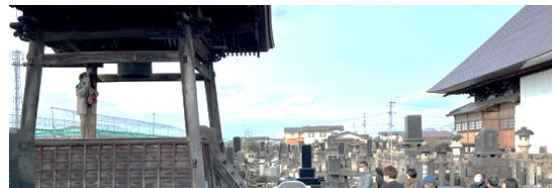
お講にまつわる思い出がある方、ぜひ聞かせてください。



忘れなの鐘 3月11日



絵本『うけど 請戸小学校物語』



震災の日集う会「忘れなの鐘」で、鐘をつく前に、ある小学校の絵本を紹介しました。昨年、津波被害のあった真宗大谷派の寺院をたずねた際に買い求めた絵本です。福島県の浪江町の請戸小学校の震災時のお話です。

小学校は津波被害で廃校となり現在は震災遺構となっており、卒業式の垂れ幕がかかったままの体育館など、当時の様子が保存されています。窓からは福島第一原発が見えました。絵本では、当日子供たちがどのように山へ逃げて、家族と再会できたか、という道のりが描かれていました。

去年は浪江町のお寺も訪ねました。原発事故で避難が呼びかけられたときは数日で帰れるかと思ったそうです。お寺にもどるまでに10年かかっていた。除染を重ね、寺の庭にあった広くて美しかった竹林を伐採し、根っこを掘り出したら劇的に放射線量が下がったそうです。

また、これから本堂の基礎を打ち、再建するという状況のお寺さんもありました。案内して下さったお坊様たちが、震災の被害のお話にいつも防災の知識を交え、訪ねた私たちにも、被害を最小限にするにはどうすべきか、まっすぐに伝えてくださるあたたかさに驚きました。



また、3月の下旬には、住職が、被災地を訪ねる研修会にて、とうとう、本当の“忘れなの鐘”をついてきました。

岩手県陸前高田市の本稱寺さん。高台に再建されたお寺に、土の中から見つかったという梵鐘が鐘楼に立派にかけられていました。

博物館情報

博物館に足を運ばれることはありますか？山形は霞城公園の中にありますね。
今回は、仙台と京都の博物館のごあんないです。

京都国立博物館

豊臣秀次公 430 回忌 特集展示

豊臣秀次と瑞泉寺

6月18日（火）～8月4日（日）

最上義光の娘、駒姫が京都で亡くなったことは山形ではよく知られています。駒姫は、豊臣秀吉の甥である秀次に見初められて、京都に嫁いでいきました。しかし、京都に着いてまもなく秀次は自害に追い込まれ、まだ夫となる人の顔も見てなかったであろう花嫁の駒姫も三条河原で処刑されたということです。三条河原のほとりに建てられた瑞泉寺には秀次とその妻子たちが吊われており、当時を伝える絵などが保管されています。このたび資料や寺宝が公開されます。

2月にイギリスのオクスフォード大学の研究者の方が、駒姫の研究のかたわら、願正坊の歴史を訪ねてこられました。

京都の瑞泉寺に、駒姫もその中の一人として描かれている三条河原での処刑当日の絵が伝わっていることを初めて教えてもらいました。



仙台市博物館

親鸞聖人生誕 850 年特別展

親鸞と東北の念仏

9月10日（火）～11月4日（月）

昨年は親鸞聖人の生誕 850 年をお迎えしました。このたび仙台市博物館にて、東北地方でお念仏の教え、南無阿弥陀仏が広がっていった歴史や文化についての特別展が開かれます。東北各地の真宗寺院に伝えられた貴重な資料、文化財が一堂に会するのは、この度が初めてではないでしょうか。願行寺開基の願正上人の足跡も見られるかと思えます。願行寺蔵の絵軸も展示される予定です。出羽の国での真宗のはじまりを伝える貴重なご本尊です。ぜひバスを借りてみんなで一緒に見に行きませんか？9月27日（金）予定しています。詳細は次号にて。

